

	評価者氏名			
	3	2	1	0
1. マナーや態度は適切でしたか	きわめて 適切だった <input type="checkbox"/>	適切 だった <input type="checkbox"/>	やや 不適切だった <input type="checkbox"/>	きわめて 不適切だった <input type="checkbox"/>
2. あなたの話に耳を傾けて聴いて貰えましたか	とても良く 聴いて貰えた <input type="checkbox"/>	聴いて 貰えた <input type="checkbox"/>	あまり聴いて 貰えなかった <input type="checkbox"/>	全く聴いて 貰えなかった <input type="checkbox"/>
3. あなたの話は正確に理解されたと思いますか	とても良く 理解された <input type="checkbox"/>	理解 された <input type="checkbox"/>	あまり理解 されなかった <input type="checkbox"/>	全く理解 されなかった <input type="checkbox"/>
4. 医師の話はわかりやすかったですか	とてもわかり やすかった <input type="checkbox"/>	わかり やすかった <input type="checkbox"/>	少しわかり にくかった <input type="checkbox"/>	とてもわかり にくかった <input type="checkbox"/>
5. からだの診察は快適でしたか	とても 快適だった <input type="checkbox"/>	快適 だった <input type="checkbox"/>	少し 不快だった <input type="checkbox"/>	とても不快 だった <input type="checkbox"/>
【概略評価】	とても 良かった <input type="checkbox"/>	良かった <input type="checkbox"/>	少し 良くなかった <input type="checkbox"/>	とても 良くなかった <input type="checkbox"/>
6. 全体の印象として今回はこの医師に診てもらって良かったですか	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>

特記事項

[]

[]

[]

合計点 18点満点

点

ステーション 3 (課題 3)

(試験開始11分後に提示する)

患者：浮田 浩(浩子) ○○歳 男(女)性

4 分間の残り時間で、面接と身体診察を参考にして、本日の検査計画を立て、重要なものを 5 つ列挙しなさい。また、鑑別診断を 3 つ列挙しなさい。

残り時間が 1 分になったら知らせます。

I. 本日から行うべきと思われる検査項目を5つ列挙しなさい。

1.

2.

3.

4.

5.

II. 鑑別診断を3つ列挙しなさい。

1.

2.

3.

検査計画と鑑別診断：採点基準

I. 検査計画

「甲状腺機能（TSH、FT3、FT4などを含む）」を書けば10点を与える。「CBC（WBC RBC Hb、MCVなどを含む）」「心電図」「胸部エックス線検査」「CRP and/or ESR」「血糖値 and/or HbA1c」の中から1項目を記載する毎に5点を与える。

「動脈血液ガス分析」「負荷心電図」「抗甲状腺抗体」「抗核抗体」などは5点減点。

その他の記載については得点を与えない。

II. 鑑別診断

「甲状腺機能亢進症」を書けば10点を与える。「貧血」「不整脈」「心不全」「感染症」「糖尿病」の中から1項目を記載する毎に5点を与える。

その他の記載については得点を与えない。

【14分経過したら】

「あと1分です。」と、受験者に告げる。

【終了の合図が鳴ったら】

解答の途中であっても、「終了の時間になりました。」と、受験者に告げる。

【解答の記入が早く終了したら】

「まだ終了の時間になっていませんが、先に終了しますか。それとも続けますか。」と、受験者に問いかける。

→「続ける」と答えた場合は、「それでは、続けなさい。」と、受験者に告げて解答を再開させる。

→「終了する」と答えた場合は、「では、終了の合図があるまで待ちなさい。」と告げて、そのまま終了の合図を待たせる。

解説

動悸を主訴に来院した患者で、現病歴や身体診察所見からは、甲状腺機能亢進症が最も疑われます。症状は持続性であり、発作性でないことから、パニック発作は否定的です。甲状腺機能亢進症以外には、倦怠感、頻脈、軽度の体温上昇や発汗過多、体重減少などの症状を起こしうる、比較的頻度の高い病態として、貧血、不整脈、心不全、感染症、糖尿病などを（甲状腺機能亢進症との合併や続発も含めて）鑑別する必要があります。呼吸器症状がなく、呼吸状態も安定しているため、動脈血液ガス検査は必要でなく、負荷心電図は、安静時の検査で心不全や不整脈の評価をした後に、必要性を検討すべきでしょう。甲状腺に関連した免疫学的検査は、甲状腺機能の異常が確定した後に検査項目を絞り込んで行うべきです。

ステーション 4（課題 1）

患者：井上 良雄 ○○歳 男性

ここは総合病院の内科外来で、今は平日の診療時間です。この患者さんは呼吸困難を主訴に受診しました。

まず、7分間で医療面接を行いなさい（5分経過した時点で合図します）。

医療面接終了後に、

- I. ポイントを絞った診察（4分間）
- II. テープによる心音・心雑音聴取（4分間）を行います。

このステーション全体の制限時間は15分間です。経過時間は口頭で知らせます。各課題のおおよその時間配分は上記のとおりですが各自変更は可能です。

〈事例設定〉一（呼吸困難）一

井上 良雄 ○○歳 男 工務店の自営

◇場面設定

1週間前から風邪をこじらせて、せきや痰がひどい。売薬の風邪薬を飲んでしたがよくなりず、息苦しい。ゼーゼー言うようになり、息苦しくて朝方まで眠れないこともあり、だんだんひどくなるようだ。喘息のようにも思えるし、家族が単なる風邪ではないと心配するのでしぶしぶ来院した。

◇患者の気持ち

最近はとても忙しいので風邪をこじらせてしまったように思う。家族が心配するので来院したが、本当はよい風邪薬をもらってすぐに仕事に戻りたい。

◇現病歴

1. 何もさえぎられない時に自ら話す内容

（ゆっくりポツリポツリと）風邪をこじらせてしまって治らない。夜、息苦しくてゼーゼー言うようになったので家族が心配している。仕事が忙しいので気は進まないが、家族が見かねて、ちゃんと医者に見てもらおうようにすすめるので来院した。

注)「さえぎられた」かどうかを判断する時の注意点

(1)「相づち」「語尾の繰り返し」は「さえぎり」とはしない。

(例) Dr「なるほどね」

Dr「ふんふん、疲れやすくなった…」

(2)話の内容についてSPが話した直後にDrが確認するのは「さえぎり」とはしない。

(例) SP「…と言われたのは初めてなんです」

Dr「初めてなんです」

SP「はい」

2. 医師から尋ねられたら話す内容

息苦しい症状が出始めた時期は？ = 1週間前から

息苦しい症状の頻度は？ = この1週間は毎晩

息苦しい症状の強さ = だんだん息苦しい状態がひどくなる

息苦しい症状の性状は？ = 息苦しくなると横になれない。横になると息苦しいので座り込む。

息苦しい症状の始まりかたは？ = 夜、床に入ってウトウトすると息苦しくなり目が覚める。

息苦しい症状の持続は？ = 息苦しいため寝付けず、早朝まで続くこともある。

息苦しい症状が起りやすい状況は？ = 夜、ウトウトと寝付こうとするとおこる

息苦しい症状が強くなるのは？ = 横になるとひどくなる。

息苦しい症状が軽くなるのは？ = 机にもたれて休んでいると楽。あまり苦しいので窓を開けて外気を吸うと楽になったような気がする。

息苦しい以外の症状は？ = 息をすると気管支喘息みたいにゼーゼー鳴る。せきや痰が続く。

足のむくみは？ = 1週間前からあります。

今までこのような症状で医療機関にかかったことは？ = ない。

- 健康診断や会社の検診で心臓に雑音を指摘されたことは？ = わからない
- 食欲は？ = 少し落ちている
- 睡眠は？ = このところ朝方まで発作が続くので眠れなくて疲れる
- 仕事の内容は？ = 工務店の自営
- 原因として思い当たることは？ = 最近すごく忙しいので風邪も治りにくいと思っている
- 心配なことは？ = 気管支喘息の友達がいて、その症状に似ている。風邪をこじらせて喘息になってしまったのではないかと心配している。

注) これら以外については、「特に問題ない」という旨の答を言う。

◇既往歴

1. 過去に経験した病気、怪我、入院、手術など

特に何もない

リウマチ熱と言われたことはないか？ = ない

2. その他の情報

アレルギー：食物 = なし、薬 = 市販の風邪薬を飲んでいる。

定期的に飲んでいる薬や健康食品など：なし

タバコ：20本／日 30年間

飲酒：忘年会などで乾杯するとき以外は、飲まない

◇家族歴

父：心筋梗塞で死亡、アパート（3階にあり）に妻と子供2人の4人暮らし

◇医師の質問に対する対応上の注意点

1. 「ほかに何か症状はありませんでしたか？」などと漠然と質問された場合

⇒そう言えば3か月前から自宅アパートの階段を3階程度上ると動悸がおこるので、途中で休まなければならないことがあります。

2. 具体的な症状を一度に複数質問された場合

⇒聞かれたものすべてに答える。

(例) Dr「胸痛や足のむくみはありませんか？」

SP「胸痛は感じません、足のむくみは1週間前からあります」

3. 話が進まなくなり、「言い忘れたことは？」と聞かれた場合

⇒患者の気持ち等、話していないことが多くても「特にありません」と答える。

4. 台本にない内容のことを質問された場合

⇒「特に問題ない」「覚えていない」あるいは自分のこと（例えば食べ物の好みなど）を述べる。プライベートなことと言いたくないことは言わない。ただし、そのことは、どの受験者に対しても言わない（対応に一貫性を持たせる）。

	2	1	0
【インタビューのプロセス】			
1. 自己紹介をした		<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
2. 最初は患者が自由に話せるように配慮した	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
3. 適度に視線を合わせていた		<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
4. 共感的な態度を示した	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
5. プライバシーに配慮した態度を示した		<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
【インタビューのコンテンツ】			
6. 経過（動悸は3か月前から）（呼吸困難は1か月前から）	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
7. 頻度（この1週間は毎晩）		<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
8. 強さ（だんだん呼吸困難の程度が増している）		<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
9. 性状（横になるとひどくなる）		<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
10. 始まり方（夜、ウトウトとしたときに起こる）		<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
11. 持続時間（朝方ねむりにつくまで続く）		<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
12. 誘因（動悸は階段を上っていると起こる） （呼吸困難は夜眠ろうとすると起こる）		<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
13. 増悪・寛解因子（1）（横になるとつらい）（机にもたれると楽になる）	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
14. 増悪・寛解因子（2）（外気を吸うと楽になるなど）		<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
15. その他の症状（1）（ゼーゼーいう）（咳や痰がひどい）	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
16. その他の症状（2）（足のむくみ）		<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
17. 受療行動（どこかで検査を受けたことは、健康診断は）		<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
18. 解釈モデル（1）（仕事で無理をしたからかもしれない）		<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
19. 解釈モデル（2）（喘息がおこったように思うので心配）		<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
20. 既往歴（特になし）		<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
21. アレルギー（特になし）		<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
22. 服薬（市販の風邪薬を服用）		<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
23. タバコ（20本／日 30年間）		<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
24. 飲酒（つきあい程度）		<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
25. 家族歴（父：心筋梗塞）		<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
26. 仕事の内容（工務店自営）		<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
合計点 31点満点			点

← 良 い | 良くない →
【概略評価】 6 5 4 | 3 2 1

（この医療面接全体の印象を6段階で評価して番号に丸をつける）

医療面接評価マニュアル

【計時開始】

試験開始と同時にストップウォッチで経過時間を測定し始める。

【インタビューのプロセス】

1. 自己紹介をした

挨拶の言葉と共に、丁寧な言葉で、はっきりと自己紹介できていれば1点。できていなければ0点。

2. 最初は患者が自由に話せるように配慮した

「今日はどういうことで来られましたか」という類の医師の質問に対して、患者さんが話し始めるが、それに対して医師がすぐに会話の主導権を奪って矢つぎ早にclosed questionで質問攻めするのではなく、open-ended questionをうまく使って、なるべく患者が自由に話ができるように配慮したかどうかをみる。患者の話が続くようならそれを遮らずに聴き、話が途切れたようでも一呼吸おいて話が続くのを待ち、患者があまり話さないようならもう少し詳しく述べるように促していれば2点。すぐに話を遮ったり主訴の直後から質問攻めにしていたら0点。その中間は1点。相槌、うなずきは遮りとはみなさない。「それはいつ頃からですか」「どのあたりなんですかね」などの質問は遮りとみなす。

3. 適度に視線を合わせていた

ずっと合わせている必要はない。適切と思われたら1点。できていなければ0点。

4. 共感的な態度を示した

十分に共感的と思われる態度を示したら2点。共感的態度が全く見られなかったら0点。その中間は1点。

5. プライバシーに配慮した態度を示した

十分に配慮していると思われる態度を示したら1点。不足していると思われたら0点。

【インタビューのコンテンツ】

6. 動悸（3か月前）と呼吸困難（1週間前）の経過

動悸は「3か月前」、呼吸困難は「1週間前」の両者を明らかにできていれば2点、どちらかを明らかにできていれば1点。いずれも明らかにならなかったら0点。

7. 呼吸困難の頻度

この1週間は「毎晩」を明らかにできていれば1点。明らかにならなかったら0点。

8. 呼吸困難の強さ

「だんだん呼吸困難の程度が増している」を明らかにできていれば1点。明らかにならなかったら0点。

9. 呼吸困難の性状

「横になるとひどくなる」を明らかにできていれば1点。明らかにならなかったら0点。

10. 呼吸困難の始まり方

「夜、ウトウトしたときに起こる」を明らかにできていれば1点。明らかにならなかったら0点。

11. 呼吸困難の持続時間

「朝まで続く」を明らかにできていれば1点。明らかにならなかったら0点。

12. 動悸と呼吸困難の誘因

動悸は「階段を3階まで上るとおこる」、呼吸困難は「夜眠ろうとすると起こる」の両者を明らかにできていれば2点、どちらかを明らかにできていれば1点。明らかにならなかったら0点。

13. 増悪・寛解因子(1)

「横になるとつらい」「机にもたれていると楽」の両者を明らかにできていれば2点、どちらかを明らかにできていれば1点。明らかにならなかったら0点。

14. 増悪・寛解因子(2)

「窓を開けて外気を吸うと楽になる」を明らかにできていれば1点。明らかにならなかったら0点。

15. 随伴症状(その他の症状1)

「ゼーゼー鳴る」「咳や痰がひどい」の両者を明らかにできていれば2点、どちらかを明らかにできていれば1点。明らかにならなかったら0点。

16. 随伴症状(その他の症状2)

「足のむくみ」を明らかにできていれば1点。明らかにならなかったら0点。

17. 受療行動(過去の医療機関受診)

「どこかで検査を受けた」「健康診断の有無」などを明らかにできていれば1点。明らかにならなかったら0点。

18. 解釈モデル(1)

「仕事で無理をしたからひどくなった」などを明らかにできていれば1点。明らかにならなかったら0点。

19. 解釈モデル(2)

「風邪をこじらせて喘息が起こったように思う」を明らかにできていれば1点。明らかにならなかったら0点。

20. 既往歴

「特にない」を明らかにできていれば1点。明らかにならなかったら0点。

21. アレルギー

「特にない」を明らかにできていれば1点。明らかにならなかったら0点。

22. 服薬

「市販の風邪薬を飲んでいる」を明らかにできていれば1点。明らかにならなかったら0点。

23. タバコ

「20本／日 30年間」を明らかにできていれば1点（「20本／日」、「吸っている」でもよい）。
明らかにならなかったら0点。

24. 飲酒

「付き合い程度に飲む」を明らかにできていれば1点。明らかにならなかったら0点。

25. 家族歴

「父が心筋梗塞で死亡」を明らかにできていれば1点。明らかにならなかったら0点。

26. 仕事の内容

「工務店」または「自営業」を明らかにできていれば1点。明らかにならなかったら0点。

【概略評価】

この医療面接全体の印象を6段階で評価して、番号に丸をつける。

【5分経過したら】

「5分たちました。あと2分です」と、受験者に告げる。

【7分経過したら】

医療面接の途中であっても、「7分たちましたから、そこまでで終了しなさい。」と、受験者に告げる。ストップウォッチは止めない。

【医療面接が早く終了したら】

「まだ7分たっていませんが、医療面接を終了しますか。それとも続けますか。」と、受験者に問いかける。

→「続ける」と答えた場合は、「それでは、続けなさい。」と、受験者に告げて医療面接を再開させ、7分経過するまで続ける。

→「終了する」と答えた場合は、「次の課題に進みますか。それとも6分経過するまで休みますか。」と、受験者に問いかけ、それに対する返事に沿って進める。

ステーション4（課題2）

（医療面接終了後に提示する）

患者：井上 良雄 ○○歳 男性

4分間でこの患者に対するポイントを絞った診察を行いなさい（3分間経過した時点で合図します）。

ベッドを用いて診察しても結構です。

視診・触診・打診・聴診等所見は口頭で（評価者に）述べてください。なお、この患者さんに病的所見がある場合は評価者から掲示板でその都度提示されます。

バイタルサインは以下の通りでした。

血圧130／80mmHg 脈拍96／分

体温36.2℃

【患者への配慮】

1. 開始時に診察をする旨を告げ了承を得る
2. 諸診察に合わせて適切に声をかける
3. 声をかけるときの言葉づかい
4. 手を温める

	2	1	0
		<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
		<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
		<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>

【診察手技】

肺の診察

5. 胸部の視診
6. 打診の範囲は十分だったか
7. 打診は左右対称に行ったか
8. 聴診の範囲は十分だったか
9. 聴診は左右対称に行ったか
10. 吸気・呼気の両方で聴診したか

		<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
		<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
		<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
		<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>

頸部の診察

11. 頸部（外頸静脈または内頸静脈）を見たか
12. 頸動脈拍動の触診

		<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
		<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>

心臓部の診察

13. 前胸部の視診（心尖拍動等の視診）
14. 心尖拍動の触診
15. 聴診：心尖部領域
16. 聴診：三尖弁領域
17. 聴診：肺動脈弁領域
18. 聴診：大動脈弁領域

		<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
		<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
		<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
		<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
		<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>

その他の診察

19. 肝臓の触診
20. 下肢の浮腫の確認

		<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
		<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>

合計点 24点満点

点

← 良 い | 良くない →

【概略評価】 6 5 4 | 3 2 1

(この医療面接全体の印象を6段階で評価して番号に丸をつける)

身体診察評価マニュアル

【患者への配慮】

1. 開始時に診察をする旨を告げ了承を得る
告げていれば1点。告げなかった場合は0点。
2. 諸診察に合わせて適切に声をかける
ほとんどすべての診察で適切に声をかけていれば2点。一部で声をかけた場合は1点。全く声をかけなければ0点。
3. 声をかけるときの言葉づかい
言葉づかいに問題が無ければ1点。問題があれば0点。
4. 手を温める
患者にふれる前に手を十分に暖めていれば1点。暖めなければ0点。

【診察手技】

注)

- * 所見を述べずに診察している場合は、「診察しながら、所見を述べてください」と繰り返し声をかけてください。
- * 座位のまま診察してもよいし、心臓の診察は患者をベット上で仰臥位にして実施してもよい。
- * 頸静脈の視診をすれば《座位で内頸静脈の怒張を認める》。肺野を聴診すれば《両側肺野に coarse crackles水泡音を聴取する》、肝臓を触診すれば《肝臓を右季肋下で1cm触知する》、下肢の浮腫を確認すれば《圧窩を残す浮腫pitting edemaを認める》の掲示板を提示して下さい。

肺部の診察

5. 胸部の視診
「胸郭の変形なし」「異常呼吸はみられません」「鎖骨上陥凹や肋間の陥凹はみられません」など何か述べれば1点。何も述べなければ0点。
6. 打診の範囲
側面や背部も含めて上・中・下肺野を打診すれば2点。どこか欠ければ1点。打診しなければ0点。
7. 打診は左右対称に行ったか
左右対称に打診していれば1点。左右対称に打診しなければ0点。

8. 聴診の範囲

側面や背部も含めて上・中・下肺野を聴診すれば2点。どこか欠ければ1点。聴診しなければ0点。

9. 聴診は左右対称に行ったか

左右対称に聴診していれば1点。左右対称に聴診しなければ0点。

肺野を聴診すれば《両側肺野にcoarse crackles水泡音を聴取する》の掲示を出す。行わなければ見せない。

10. 吸気・呼気の両方で聴診したか

吸気・呼気の両方で聴診すれば1点。しなければ0点。

頸部の診察

11. 頸部（外頸静脈または内頸静脈）の視診

外頸静脈または内頸静脈を視診すれば1点。しなければ0点。（口頭で述べなければ述べるように指示）

頸静脈の視診を行った場合のみ《座位で内頸静脈の怒張を認める》の掲示板を見せる。行わなければ見せない。

12. 頸動脈拍動の触診

両側頸動脈の触診を行えば1点。片方だけの触診または実施しなければ0点。

心臓部の診察

13. 前胸部の視診（心尖部の視診）

心尖部を見て、心尖拍動を認めないなどを述べれば1点。しなければ0点。

14. 心尖拍動の触診

心尖拍動を手で正しく触れれば1点。しなければ0点。

15. 聴診：心尖部領域

心尖部領域を膜型とベル型聴診器の両方で聴診すれば2点。一方のみであれば1点。診察しなければ0点。

16. 聴診：三尖弁領域

三尖弁領域を膜型聴診器で聴診すれば1点。聴診しなければ0点。

17. 聴診：肺動脈弁領域

肺動脈弁領域を膜型聴診器で聴診すれば1点。聴診しなければ0点。

18. 聴診：大動脈弁領域

大動脈弁領域を膜型聴診器で聴診すれば1点。聴診しなければ0点。

その他の診察

19. 肝臓の診察

肝臓の触診を触診すれば1点。しなければ0点。

肝臓を触診すれば《肝臓を右季肋下で2 cm触知する》の掲示板を出す。行わなければ見せない。

20. 下肢の浮腫の確認

下肢の浮腫を確認すれば1点。しなければ0点。

下肢の浮腫を確認すれば《圧窩を残す浮腫pitting edemaを認める》の掲示板を出す。行わなければ見せない。

【概略評価】

この身体診察全体の印象を6段階で評価して、番号に丸をつける。

【10分経過したら】

「3分たちました。あと1分です。」と、受験者に告げる。

【11分経過したら】

身体診察の途中であっても、「4分たちましたから、そこまでで終了しなさい。」と、受験者に告げる。ストップウォッチは止めない。

【身体診察が早く終了したら】

「まだ4分たっていませんが、身体診察を終了しますか。それとも続けますか。」と、受験者に問いかける。

→「続ける」と答えた場合は、「それでは、続けなさい。」と、受験者に告げて身体診察を再開させ、11分経過するまで続ける。

→「終了する」と答えた場合は、「追加の情報や課題を見ますか。それとも4分経過するまで休みますか。」と、受験者に問いかけ、それに対する返事に沿って進める。

	評価者氏名			
	3	2	1	0
	きわめて 適切だった	適切 だった	やや 不適切だった	きわめて 不適切だった
1. マナーや態度は適切でしたか	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
	とても良く 聴いて貰えた	聴いて 貰えた	あまり聴いて 貰えなかった	全く聴いて 貰えなかった
2. あなたの話を耳を傾けて聴いて貰えましたか	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
	とても良く 理解された	理解 された	あまり理解 されなかった	全く理解 されなかった
3. あなたの話は正確に理解されたと思いますか	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
	とてもわかり やすかった	わかり やすかった	少しわかり にくかった	とてもわかり にくかった
4. 医師の話はわかりやすかったですか	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
	とても 快適だった	快適 だった	少し 不快だった	とても不快 だった
5. からだの診察は快適でしたか	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
	とても 良かった	良かった	少し 良くなかった	とても 良くなかった
【概略評価】 6. 全体の印象として今回はこの医師に診てもらって 良かったですか	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>

特記事項

[]

[]

[]

合計点 18点満点

点

ステーション 4 (課題 3)

(身体診察終了後に提示する)

患者：井上 良雄 ○○歳 男性

身体診察で、座位で内頸静脈の怒張を認め、両側肺野に水泡音を聴取した。また、右季肋下で肝臓を 2 cm 触知、下肢に浮腫 pitting edema を認めた。

この患者で、心尖部で記録された心音・心雑音のテープを30秒間聴きます。

まず、心音・心雑音の所見を述べ、診断(考えられる疾患の診断)して下さい。

その後でさらに2つ質問を行います。

残り時間が1分になったら知らせます。

【僧帽弁逆流症の聴診所見】

	2	1	0
1. I音の減弱について	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
2. 過剰心音について	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
3. 雑音は収縮期性か拡張期性か		<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
4. 雑音は逆流性と判断できたか		<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
5. 診断は正しいか		<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>

【質問】

6. 逆流性雑音をきたす疾患を述べよ	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
7. 僧房弁逆流の原因としてリウマチ熱以外にどのような疾患があるか	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>

合計点 9点満点

点

← 良 い | 良くない →

【概略評価】 6 5 4 | 3 2 1

(この医療面接全体の印象を6段階で評価して番号に丸をつける)